

アルモード  
alnode

613・6613

取扱説明書

◎ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

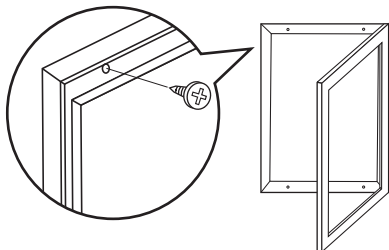
業者様へ 本書はお客様へお渡しください。

お客様へ 本書は大切に保管してください。

付属部品: 直付け用ビス(8ヶ)

ロック解除用ピン

壁面への取り付け方法



扉を開いて取付穴よりビス止めします。

※埋込施工もできます。

※このフレームは、扉を閉じると自動的にロックされ、ピンでロック解除しないと開きません。  
(ピンは付属のロック解除用ピンをご使用ください。)

※セット時など、扉を開いているときは、人がぶつかったり、体をはさまれたりしないようご注意ください。

※扉は確実に閉じ、ロックされていることを確認の上で使用ください。ロックされていないと、衝撃等により開くことがあります。

セット方法(613)

<p>1</p>	<p>2</p>	<p>3</p>
<p>扉前面のピン穴に、ピンを差し込みます。 (ピンが内部のロックを押し込み解除します。)</p>	<p>扉を開き、ポスター等をピンナップします。</p>	<p>扉を閉じ、ロックされたことを確認してセット完了です。</p>

※ホワイトボード仕様の場合は: 表面保護シートをはがし、テープやマグネットでポスターを貼ってください。ホワイトボード用マーカーで書くこともできます。

セット方法(6613)

<p>扉前面のピン穴に、ピンを差し込みます。 (ピンが内部のロックを押し込み解除します。)</p>	<p>簡易ステーが扉を固定しているのを確認の上、ポスター等をピンナップしてください。</p>	<p>扉を少し持ち上げると、簡易ステーのロックが解除されますので、棒を手前に引いてロック穴より抜き出し、そのまま扉を閉じてください。</p>

お取り扱い上の注意

ご使用前に必ず本書(取扱説明書)をよくお読みいただき、記載された注意事項を守って、正しくお使いください。※記載された注意事項の内容を守らずに使用した場合の事故や損害については、責任を負いかねます。

1. お取り付けは、必ず専門知識のあるプロの業者の方に依頼し、取り付け業者様の責任において行ってください。
2. 本体及び部品の改造は行わないでください。  
・強度低下、故障、事故の原因になります。また、本来の機能を損なう恐れがあります。
3. 屋内向き仕様ですので、環境条件にご注意ください。  
・この商品は屋内向き仕様になっています。直射日光や雨風を避けてお取り付けください。
4. 設置場所にご配慮ください。  
・人通りや周囲の状況に配慮し、ポスター等の入れ替え作業に支障のない場所に設置してください。  
・人通りや周囲の状況に配慮し、安全な場所に設置してください。本体に人が当たると、けがをしたり、衣服を損傷したりすることがあります。  
・冷暖房の空調設備付近(熱風・冷風の直接当たる場所)には設置しないでください。  
・ウィンドーなど直射日光の当たる場所や、高温になる場所では、熱により透明板が変形することがありますので、設置しないでください。
5. 設置面の材質・状態をご確認ください。  
・パネルや掲示物の重量に耐えられる壁面にお取り付けください。
6. 取り付け金具を正しくお選びください。  
・壁面の材質により、付属の直付け用ビス等が合わない場合があります。市販の取り付け金具をご使用の際は、パネルや掲示物の重量に耐えられるものをお選びください。

組立設置に際して

1. 角部、フレーム切り口、部品等は鋭利ですので、取り扱いにご注意ください。  
・手などを傷つける恐れがあります。また、人に当たると、けがをししたり、衣服を損傷したりすることがあります。
2. パネルの下にものを置かないでください。  
・予期せぬ事態でパネルが脱落することも予想されます。
3. 中身やパネルがしっかり固定されているかご確認ください。  
・中身のセット後、開閉パネルやネジ等の可動部分がしっかり固定されていることを確認してお使いください。部品等の固定が不十分だと中身やパネルが落下するおそれがあります。
4. 故障、破損、部品の紛失等があった場合は、業者の方に依頼し、新しいものに交換してください。

ご使用に際して

1. 定期的に点検してください。  
・パネルと裏面の金属部分(ビス等)のゆがみ、ガタつき、錆、腐食等の異常がないかを点検し、異常がある場合は交換してください。
2. 定期的に清掃してください。  
・パネル周辺はほこりがたまりやすく、放置していると汚れますので定期的に清掃してください。  
・柔らかい布を水でしめらせ、よくしぼってふいてください。金属磨き、サンドペーパー等は表面をいためます。  
・殺虫剤をかけたり、シンナーやベンジン等揮発性のあるものでふいたりしないでください。変色、変質の原因となります。  
・マーカを書きを長期間放置しておく、消しにくくなる場合があります。その際は柔らかい布を水でしめらせてふきとってください。



角部、フレーム切り口、部品等は鋭利ですので、手などを傷つけないよう、取り扱いにご注意ください。